花さき山

令和４年度
飯豊町立飯豊中学校
第３学年だより
第　４６　号
２０２３．３．１０
文責：小松正義

12年前！ ある中学校の卒業式より!!

12年前、3月11日「東日本大震災」がありました。まだ2，3歳だった中学3年生には、記憶にすら残っていない出来事ですが、昨年の修学旅行では被災の状況を学んできたので、少しは想像できると思います。

8日の道徳で、今年の3年生と同じ、57名の卒業生が全員旅立つ予定だった階上中学校のことから学びました。3月12日に卒業式を迎えるはずだったのに、そのたった10数時間前に、「東日本大震災」が起こりました。57名のうち3名が卒業式を迎えられませんでした。時期尚早と思いながらも、10日後に卒業式を行いました。避難場所にもなっていた体育館で、地域の方の理解と協力を得、行われた卒業式での答辞は、短いけれど、思いの詰まった、そしていろんなことを考えさせられる内容でした。

どんな思いや、姿を残して卒業式を迎えるのか、1人1人が考えました。

本日は未曽有の大震災の傷もいえない最中、私たちの為に卒業式を挙行していただきありがとうございます。

ちょうど10日前の3月12日、春を思わせる暖かな日でした。私たちはそのキラキラ光る日差しの中を希望に胸を膨らませ、通いなれたこの学舎を57名揃って巣立つ筈でした。

前日の11日。一足早く渡された、思い出のたくさん詰まったアルバムを開き、十数時間後の卒業式に思いを馳せた友もいたことでしょう。「東日本大震災」と名づけられる天変地異が起こることも知らずに。

階上中学校といえば「防災教育」といわれ、内外から高く評価され、十分な訓練もしていた私たちでした。しかし自然の猛威の前には、人間の力はあまりにも無力で、私たちから大切なものを容赦なく奪っていきました。天が与えた試練というには、むごすぎるものでした。辛くて、悔しくてたまりません。

時計の針は14時16分を指したままです。でも、時は確実に流れています。生かされた者として、顔を上げ常に思いやりの心を持ち、強く、正しく、たくましく生きていかねばなりません。命の重さを知るには大きすぎる代償でした。しかし、苦境にあっても、天を恨まず運命に耐え、助け合って生きていく事がこれからの私たちの使命です。

私たちは今、それぞれの新しい人生の一歩を踏み出します。どこにいても、何をしていようとも、この地で仲間と共有した時を忘れず宝物として生きていきます。後輩の皆さん、階上中学校で過ごす「あたりまえ」に思える日々や友達がいかに貴重なものかを考え、いとおしんで過ごしてください。

先生方、親身のご指導ありがとうございました。先生方がいかに私たちを思ってくださっていたか、今になってよくわかります。

地域の皆さん、これまで様々な御支援をいただき、ありがとうございました。これからもよろしくお願い致します。

お父さん、お母さん、家族の皆さん、これから私たちが歩んでいく姿を見守っていてください。必ずよき社会人になります。

私はこの階上中学校の生徒でいられたことを誇りに思います。最後に、本当に本当にありがとうございました。

平成23年3月22日

２組　　鈴木　大虎

実に不平等で、誰のせいでもない「自然災害」に全てを奪われた同じ年で、同じ環境で、同じ未来があったはずの３年生の答辞に、今だからこそ感じることができる感じを学びました。この中学生達は、華やかな舞台でしたいことが山ほどあったと思います。今僕たちにできることは、やれることは全てやり切ることだと思います。

２組　　渡部奈南香

皆で卒業できることは当たり前じゃないので、「感謝」しながら毎日生活していきたいと思った。３年間中学校で過ごして、楽しい思い出をたくさん作れたし、どんなことも皆で乗り越えられたから、最後まで感謝していきたい。また、卒業する日まで、良い姿を後輩に見せて、惜しまれるような卒業式にしたい。そのために、掃除や伝統活動を頑張って学校や後輩に感謝していきたいと思う。

1組　　長岡和佳葉

飯豊中で当たり前のように過ごせたこと、毎日のように友達と会って普通の生活ができたことに感謝して、先生方や地域の方にも感謝して卒業したい。そのためにも、地域の人や先生と会ったら明るい挨拶を自分からしていきたい。また、学校への感謝や後輩へ伝統を伝えるためにも、一つひとつの生活や清掃、歌声を通して、飯豊中3年として誇れるような行動をしていきたい。

２組　　平　英翔

災害は、いつどこで起こるかわからない大きな悲劇。自分の知っている人、思う人が目の前から「ぱっ」と消えてしまうことは、今の自分では想像できません。僕は、日々感謝の気持ちをもって生活していきたい。思うだけではなく「ありがとう」と伝えられるようにしたい。伝えることは簡単ではないけど、今ある平和な日常が、いつ崩れるかわからないから、卒業までの一日一日に「ありがとう」と言いたい。

1組　　後藤　和希

まず、無事にみんながそろって卒業式ができることを祈りたい。そして、自分が卒業できるまで育ててくれた周りの人に感謝の気持ちを伝えたい。中学校を卒業し、ワンステップ上に行くための決意と明日への希望を胸に卒業式の最後の最後まで前を向いて笑顔でいることを大切にできたらいいと思う。

1組　　坂田　壮

自分たちが今、こうして当たり前に毎日顔を合わせ、平和に過ごせていることに感謝して、最後の中学校生活を大切に送っていきたいです。自分を慕ってくれていた後輩などに感謝を示したいと思いました。必死に勉強を教えてくれた先生方にも、大きな感謝をしたいと思います。限りある命、最大限に楽しみたいと思います。

1組　　木村　瑠里

毎日当たり前だと思って過ごしていたものが一瞬で崩れて、友達や家族との楽しい思い出がなくなって本当に辛いと思いました。私たちは経験したことがないから、辛い思いは当時の人たちのようには分からないけれど、動画を見て改めて自分の周りにいる人たちを大切にしたいと思いました。毎日を当たり前だと思わずに、これからを大切に生きていきたいです。

自治会企画 第3弾！　雪像作り!!

9日（木）学年レクを行いました。「班対抗雪像作り」です。制限時間30分で①大きさ②一目でわかるできばえ　を競いました。どの班も童心に返り、楽しそうに協力して作っている姿が印象的でした。こんなことができるのも、今だけかもしれませんね。

表彰は１組４班、5班
２組３班
３つの班が獲得、審査員
泣かせの力作揃いでした。

お願い

◎卒業式当日のこと

① 保護者受付の時間は**8:10～8:30**ですが、生徒登校完了が**8:10**となっています。一緒に来ていただいた際、少しお待ちいただくことになると思いますが、ご協力お願い致します。

② 校内では、**マスク着用**をお願いすることになります。式中も保護者・教職員は**マスク着用**になります。ご協力お願い致します。

◎高校への提出について

① **「キャリアパスポート」**は、進学先の**高校へ提出するもの**となります。各自保管の上、高校の指示により提出をお願いします。

② **「家庭健康観察カード」**は５月７日まで継続されるものです。高校で提出を求められることも考えられます。**春休み中も検温し記入を**続けてください。